

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2006-307216(P2006-307216A)

【公開日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2006-120350(P2006-120350)

【国際特許分類】

C 0 9 D 175/04 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 167/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 175/04

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 167/00

C 0 9 D 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月24日(2009.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

I) N-メチルピロリドン及び他の溶媒を含まないポリウレタン分散体を、

1) 第 1 工程において、

a) 1 種又はそれ以上のポリイソシアネートと、

b) 1 種又はそれ以上の、500～6000の平均分子量Mnを有するポリオール、

c) 1 種又はそれ以上の、62～500の平均分子量Mnを有するポリオール、及び

d) 1 種又はそれ以上の、イオン性基又は潜在的イオン性基を有する化合物

との反応生成物であり、大気圧下で100 未満の沸点を有する溶媒中の濃度66～98質量%であるNCOプレポリマー溶液を調製し、

2) 第 2 工程において、NCOプレポリマー(1.1)を水に分散させ、分散前、分散中又は分散後に、潜在的イオン性基を少なくとも部分的に中和してイオン性基を形成し、

3) 第 3 工程において、NCOプレポリマー(1.1)を、

e) 1 種又はそれ以上の、500 未満の平均分子量Mnを有するポリアミン

により、連鎖延長し、

4) 第 4 工程において、蒸留により溶媒を完全に除去することにより調製し、

次いで

II) 1～7質量%のエチレングリコールエーテル又はプロピレングリコールエーテル、及び所望により他の被覆用添加剤と一緒に又は別々に、ポリウレタン分散体I)に添加する

ことを含んでなる、水性被覆組成物の製造方法。

【請求項 2】

I) N-メチルピロリドン及び他の溶媒を含まないポリウレタン分散体を、

1) 第1工程において、

- a) 1種又はそれ以上のポリイソシアネートと、
- b) 1種又はそれ以上の、500～6000の平均分子量Mnを有するポリオール、
- c) 1種又はそれ以上の、62～500の平均分子量Mnを有するポリオール、及び
- d) 1種又はそれ以上の、イオン性基又は潜在的イオン性基を有する化合物

との反応生成物であり、大気圧下で100未満の沸点を有する溶媒中の濃度66～98質量%であるNCOプレポリマー溶液を調製し、

2) 第2工程において、NCOプレポリマーI.1)を水に分散させ、分散前、分散中又は分散後に、潜在的イオン性基を少なくとも部分的に中和してイオン性基を形成し、

3) 第3工程において、NCOプレポリマーI.1)を、

e) 1種又はそれ以上の、500未満の平均分子量Mnを有するポリアミンにより、連鎖延長し、

4) 第4工程において、蒸留により溶媒を完全に除去することにより調製し、

次いで

II) 1～7質量%のエチレングリコールエーテル又はプロピレングリコールエーテル、及び所望により他の被覆用添加剤と一緒に又は別々に、ポリウレタン分散体I)に添加する

ことを含んでなる方法により製造された水性被覆組成物。

【請求項3】

請求項2に記載の水性被覆組成物により被覆された被覆基材。

【請求項4】

基材は吸収性基材である請求項3に記載の被覆基材。